



三恵会理念

天の恵 地の恵

人の恵に支えられ

人の為に尽くして

感謝しよう

一、誠実な福祉

一、確実な知識と技術

一、堅実な経営

検索

三恵会

<http://sankeikai.com>

発行

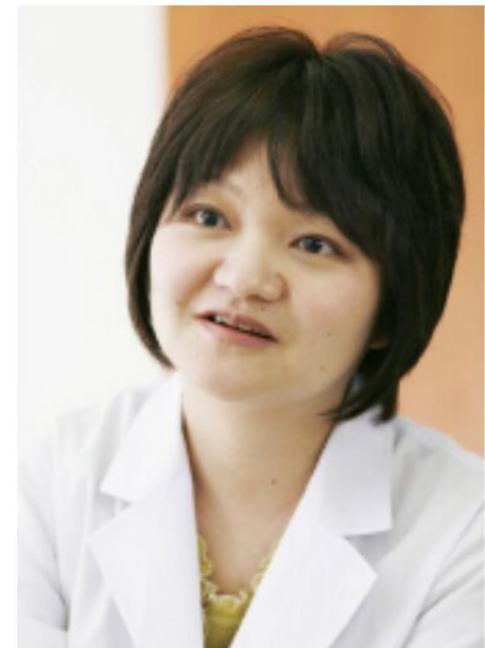
社会福祉法人

三 恵 会

愛媛県新居浜市西の土居町2-8-12 TEL (0897) 31-1775

年頭の挨拶

理事長 太田恵理子



新年あけましておめでとうございます。

皆さまにはお健やかに新春を迎えられ、心新たに1歩を踏み出されたこととお慶び申し上げます。新居浜市では年末から元日にかけて雪模様となり、

四国山脈が白く薄化粧した荘厳な景色の中で、2011年が幕を明けました。

私ども社会福祉法人三恵会は、乳幼児保育、子育て支援から障害児者支援、高齢者支援まで、手助けを必要とされる皆さまの多彩なニーズにお応えするべく、多機能法人として成長して参りました。

今年は、新居浜市川東地区阿島に小規模特別養護老人ホーム、認知症グループホーム、地域交流ルームを備えた複合福祉館「恵海（めぐみ）」の新設に取り組みます。

また、昨年新居浜市よりご指名を受けた公立中萩保育園の委譲準備に着手し、平成24年春のスムーズな運営移管に備える計画です。利用中の子ども達、保護者の方の心配、不安が最小となるよう努めます。

隣近所で互いに助け、助けられる関係が強かった時代から、核家族、孤立化の時代となり、子育てや介護で孤軍奮闘する方が増えてきています。

三恵会が皆さまの「頼れるお隣さん」になれるよう、今年も職員一同力を尽くしてゆく所存です。私ども法人職員全員が、福祉人として社会に貢献できる力を高めて参ります。

今年一年よろしくお願ひ申し上げます。



愛媛新聞賞を受賞

社会福祉法人三恵会 苦情解決委員の石田ヒサ子さんが第59回愛媛新聞賞を受賞されました。

愛媛新聞賞は、愛媛県の経済や文化などの発展に貢献した方に贈られます。

愛媛新聞賞

DV被害者救済
石田 ヒサ子さん(81)
—新居浜市

自立支援システム築く

「先生、助けてください」と、センター所長を務めた。その後、DVで身も心も傷ついた女性の声に耳を傾け、自立支援に尽力して約15年。増加するDV問題に立ち向かい、新居浜市の関係機関と連携を深め、先進的で手厚い支援システムを築き上げた。被害者は先生と慕い、絶大な信頼を寄せ、地域の絆が私を支え、と、市の相談員を退いた昨年以降も、全身全霊で女性や子どもを救う。

同市の保育士として約30年勤務。退職後は8年間児童セ

確かな道 地域育む

新居浜市でDV被害者を自立に導く活動を続ける石田さん

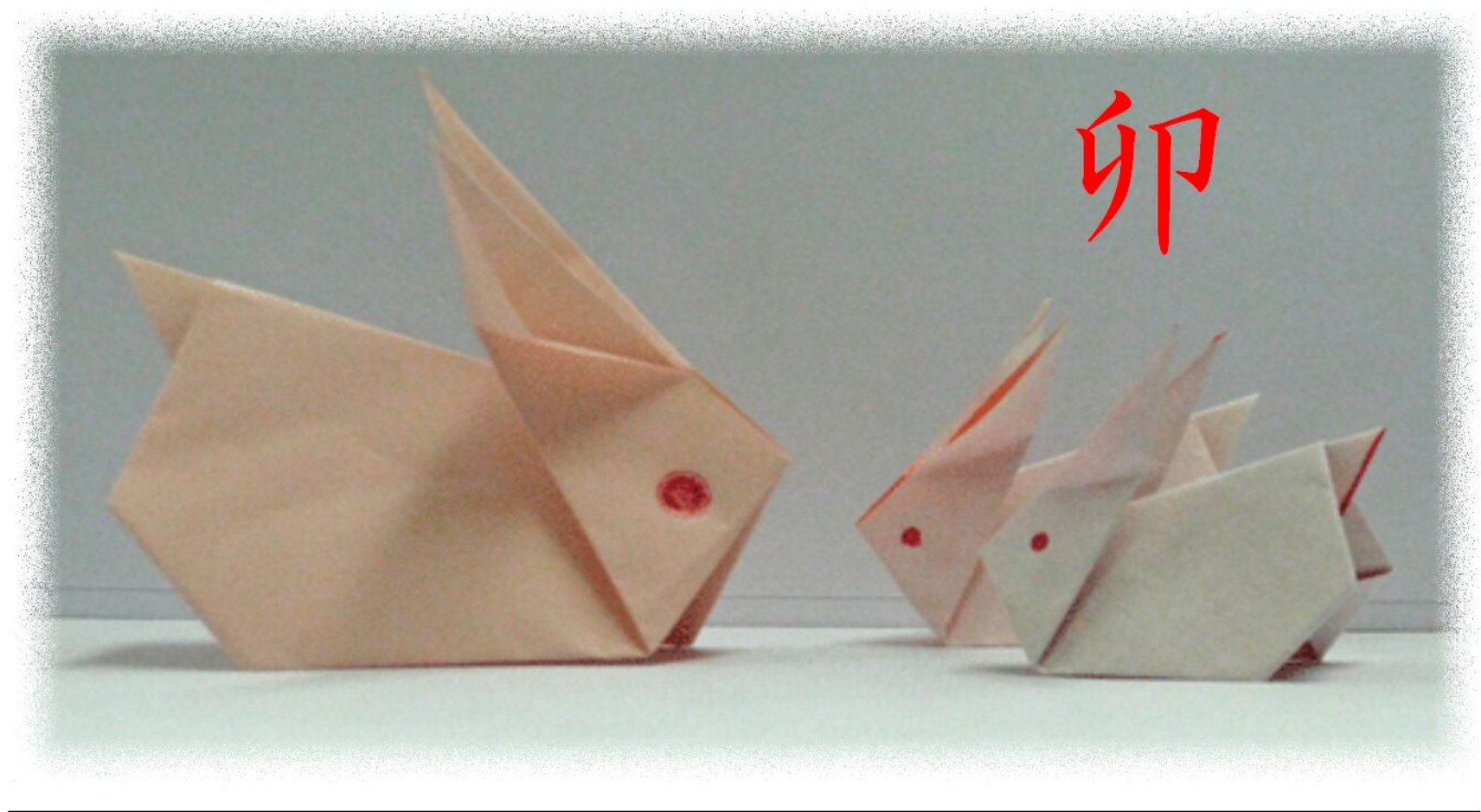


「天に見つかるとは救済はだめ、病院も明日にと言うが、一晩待てれば彼女を殺していたかもしれない」。当時は行政や関係機関の対応が不十分で、「理解を得るために、いろんな人と話し合った」と苦笑い。それでもその熱意が、新居浜市DV対策連絡会議の設置につながり、関係機関の柔軟な対応を可能にしたと言っても過言ではない。「これを引き継ぐため、有志がNPO法人「新居浜ほつとねつと」を立ち上げ支援を進めている。

行動力の源は「子どもを守りたい」との思い。DVや児童虐待には世代間連鎖が懸念され子どもは沈黙の被害者」と訴える。

ハイチのマサテラサと呼ばれる須藤昭子医師の「生き方が大好き。」「女性が自立していく姿を見守っていると生きがいを感じる。すこちゃんティアを続け、被害者に寄り添いたい」と目を細めた。(白石厚子)

1月1日(土) 愛媛新聞より



ハートランド三恵

『忘 年 会』

12月14日 (火)



皆様、2010年はいかがでしたか？

充実した良い1年だった人、楽しいことがいっぱいあった人、それほどでもなかった人・・・。

とりあえず皆でパーッと盛り上がりましょう!!ということで、今年の忘年会はなんと、職員によるパフォーマンス！

ひげダンスあり、ドタバタ喜劇あり、本格派舞台演劇(?)ありで会場が笑いの渦に飲み込まれたひとときでした。

たくさん来られていたご家族はひいていたかも・・・。

来年(もう今年ですね)も

また、よろしく願いいたします。



十全保育園

『おもちつき』

12月28日 (火)

子ども達はエプロンに三角布をつけ、腕まくりしてやる気満々！

ペタンコ！ペタンコ！とかけ声をかけながらおじいちゃん達に声援を送っていました。

自分達でまるめたおもちは格別においしくってとびっきりの笑顔で味わっていました。

いつしかお顔もまっ白！！

まるでお化粧をしているよう・・・。

友達と顔を見合わせては大笑いの子ども達。

とても楽しいおもちつきになりました。



三惠ホーム

『お餅つき』

当日は少し肌寒い中でのお餅つきとなりましたが、利用者様と一緒に「ヨイショ」「ヨイショ」の掛け声でお餅をつきました。

ついたお餅は、昼食にみんなで美味しくいただきました。



『三惠ホームクリスマス特集』



今年は利用者様と一緒に特大クリスマスリース作りに挑戦しました。リースの土台に利用者様が様々な飾り付けをしていき、完成間近には土台が見えなくなるほど沢山の飾りつけになっていました。完成した特大クリスマスリースは、1階2階それぞれの食堂に飾られました。

また、クリスマスイルミネーションも飾り付けされ施設内はクリスマスムーディー色に染まりました。

そして24日にはサンタクロースとトナカイが三惠ホームにもプレゼントを持って来てくれ、利用者様一人ひとりに手渡されていました。

早速空けて見る方やしばらく雰囲気を楽しまれている方等それぞれのクリスマスを楽しめました。

希望の館

新

脳トレーニングゲーム導入

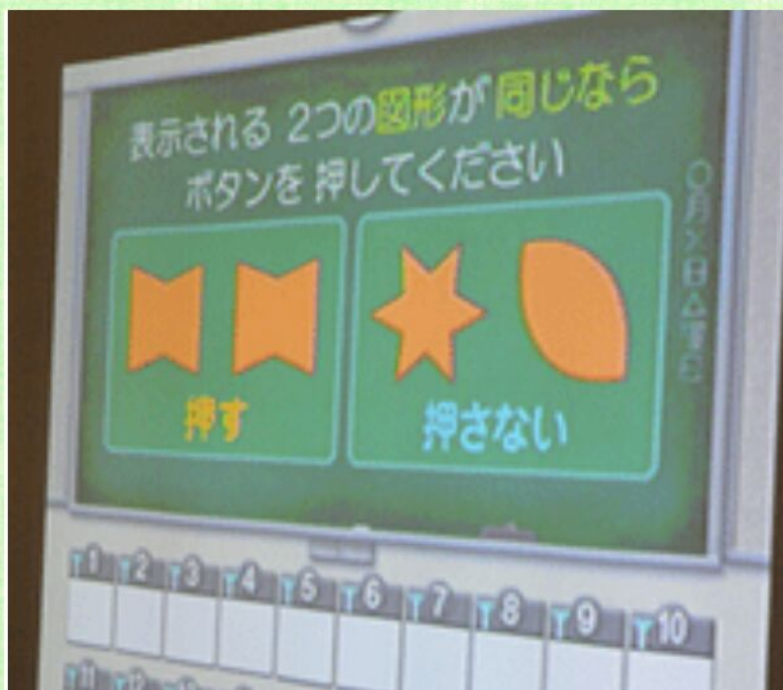


今月、新しいゲーム機を導入しました。テレビのクイズ番組のように大勢で楽しみながら脳のトレーニングが行なえる『アタマ倶楽部』です。

操作は簡単。手元のボタンを押すだけです。問題は、図形の違い探しや、2つの文字が同じだったらボタンを押すといった簡単な問題ですが、反射

神経を求められる楽しいものとなっています。

利用者の皆さんはとっても真剣で、ゲームにもものすごく集中されていました。



ゲーム内容

結 果	
① 11点 / 60点	11 14点 / 10点
② 12点 / 50点	12 14点 / 10点
③ 17点 / 0点	13 14点 / 10点
④ 2点 / 130点	14 17点 / 0点
⑤ 2点 / 130点	15 10点 / 70点
⑥ 17点 / 0点	16 2点 / 130点
⑦ 8点 / 120点	17 2点 / 130点
⑧ 12点 / 50点	18 9点 / 80点
⑨ 2点 / 130点	19 2点 / 130点
⑩ 17点 / 0点	20 1点 / 150点

ゲーム結果

やすらぎの郷

『餅つき』

12月15日 (水)



やすらぎの郷全体での餅つきが行われました。

今回は、入苑者の方はもちろん、通所利用者の方も多く参加され、賑やかに行われました。

特にお餅を丸める作業では、皆さん慣れた手つきで行っており、「さすが!」という感じでした。



『忘年会 & クリスマス会』

年末ともなると、やすらぎの郷内の各事業所で忘年会やクリスマス会が行われました。

各々の職員が仮装して歌ったり、踊ったりする姿に、利用者も思わず笑わずにはられない様子でした。皆さん一年を締めくくる行事を大いに楽しまれていました。



リハビリステーション三恵荘

『忘年会』

12月14日 (火)

12月14日に忘年会がありました。

今年はのど自慢大会を行い、ピンクレディや山本リンダなどに仮装した職員が登場するたびに皆さんから笑いと歓声があふれていました。

今日一日笑いのたえない1日になりました。

またみんなで盛り上がりましょう！！



「クリスマス会」

12月24日 (金)

12月24日にクリスマス会がありました。サンタさんとトナカイさんが来られ、ジングルベルや赤鼻のトナカイと一緒に歌いました。

最後にプレゼントをいただきサンタさんと写真撮影をしました。

皆さんプレゼントを開けるときの表情がニコニコとされ楽しいひと時を過ごされてました

